

愛媛・高知支部会報

2014年5月15日発行

広島女学院同窓会
2014年度 年間聖句



あなたの御言葉は、わたしの道の光
わたしの歩みを照らす灯
—詩編 119 編 105 節—

主な内容

- 2013年度愛媛・高知支部会および2014年度全国代表者会議等のご報告 田中 チカ子（大英 17）
- 『グアテマラに暮らして』 杉山 望さん（大英 18）
- 『同窓会支部会に参加して』 永井 信子さん（短大 14）
- 『30年ぶりの支部会』 栗田 智恵子さん（短大 10）
- 当支部お財布のふくらみ具合



<2013年度 愛媛・高知支部会>

日時 2014年3月15日(土)12:00~14:30
場所 松山全日空ホテル 6階 桃園
会費 3,500円
出席者 15名

年度末のお忙しい時期にもかかわらず、本部から野村幹事、山中幹事、事務局の與儀様3名の方をお迎えし、15名の出席者を得て支部会を開催することができました。

懐かしい讃美歌を歌い、本部役員さんから母校の近況をお聞きし、おいしい食事をいただきながらいろいろな話題で盛り上がり…、と、ここまではいつもの楽しく和やかな当支部会のようすです。

今回、はじめての試みとして、事前をお願いしておいた方々に海外の生活やスイスアルプスの山歩き、地域活動などをご報告いただきました。内容の豊かさに加え、写真や動画、紙芝居の実演など、ユーモアあふれる巧みな話術に皆さん引き込まれました。支部会にもうひとつの楽しさが加わったようでした。

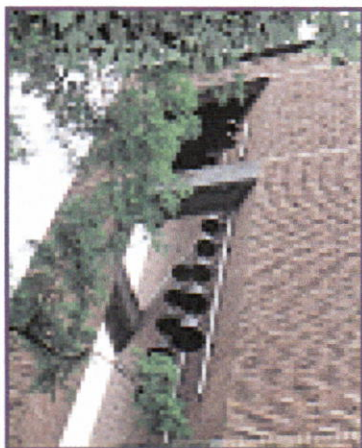
今回の支部会報には、その時ご報告くださったうちのお二人からもご投稿いただいております。当日の充実したご報告のごく一部ですが、ご想像いただけるのではないかと思います。

＜当支部会計監査＞

愛媛・高知支部の会計処理について、4月8日（火）日浦千明さんと稲瀬多美さんに、預金通帳、会計簿、領収証等を基に、適正に処理されていることをご確認いただきました。この場をお借りしてご報告するとともに、お忙しい中、当支部健全運営のために時間と労力を割いてくださったお二人に心から感謝申し上げます。

（当支部財政状況は4ページ「当支部お財布のふくらみ具合」をご覧ください。）

＜2014 年度全国代表者会議＞



広島女学院同窓会全国代表者会議が4月25日（金）、同窓会館別棟チャペルで行われ、2013年度の事業・会計報告、会計監査結果の報告を受け、本部提案の本年度の事業計画案と予算案が審議のうえ事務局案通り承認されました。

すでに『女学院報』でご存知のように、長尾ひろみ学長が退かれ、新しく湊晶子学長が就任されました。詳しくはお手元の『女学院報』第172号をご覧ください。

この他、当ブロック提案の全国代表者会議へのブロック出席者1名増（案）が本部役員会で承認され、全国代表者会議でも審議され承認されました。

この結果、会員数の多い広島や中国地区、大阪、関東ブロックに加え、中部、四国、九州ブロックが2名出席となります。いただいたチャンスを当ブロックの活性化につなげたいと思います。

みんなのひろば

今回は3月開催の2013年度支部会でご報告くださったり、ご出席の感想をお寄せくださった方々の投稿文をご紹介します。お忙しい中、執筆の労をとってくださった投稿者の皆さまには厚く御礼申し上げます。

次回はあなたもどうぞ。近況や感想、旅の思い出や写真、俳句や川柳、絵手紙などお待ちしております。

『グアテマラに暮して』

杉山 望さん（大英 18）

メキシコの南にあるグアテマラで、2010年から2年間暮しました。夫が、JICA（ジャイカ）のシニアボランティアに応募したからです。今更、外国に暮すことも、スペイン語の勉強も想定外でした。

赤道に近いので、海岸沿いは年中蒸し暑いのですが、首都は高地にあり、一年中春のように快適でした。人々は親切で、果物はおいしく、物価は安い。広いマンションに住みブルジョアとテニスを楽しみ、あくせくしない暮らしは、極楽…。

と言いたいところですが、治安が悪く、どこも銃をもったガードマンだらけ。殺人事件は頻繁に起こり、信号待ちの車から携帯電話や金を巻き上げるくらいではニュースにもなりません。日本がどんなに安全な国かよくわかりました。



とはいえ、これも含めて異文化の暮らしは愉快でした。マヤ暦や複雑な象形文字をもつマヤ文明発祥の地であり、神殿遺跡群が全土に散らばっています。国鳥の赤いケツァールが飛ぶ姿は幻想的ですし、ジャングルには七面鳥やハナグマ、イグアナもいます。

スペイン人征服後は、スペイン文化が塗り重ねられてきたのでしょう。美しい古都の町並は当時のスペインの威力を偲ばせます。復活祭に敷き詰められる花のアルフォンブラ、キリストの山車はみごとで、世界中から観光客が集まってきます。

スペイン語は上達しませんでした。もう一度訪れたいところです。(写真も杉山望さん提供)



左上 蛇が降りはじめたククルカン神殿

春分、秋分の日、陽が傾くと現れはじめます。

左下 色鮮やかな風上げ

右 キリストの山車が通る復活祭の花のアルフォンブラ

山車が通る数分だけのために鮮やかな生花を敷き詰め、迎えます。

『支部会に参加して』 永井 信子さん(短大 14)

まあ、10年振り以上でしょうか、すっかりご無沙汰してしまいました。

桜の開花が待たれる3月半ば、会場は行き届いたご配慮で、芽吹きいっぱいの中庭に面したゆったりしたお部屋でした。本部からのお三人を交え、ほんとうに和やかなお話し合いができ、嬉しく楽しい時間を過ごすことができました。

卒業年度も学部もそれぞれに違った方たちの集まりでしたが、懐かしい青春時代にタイムスリップして話に花が咲きました。卒業して50年近くも経ちますと、あの頃の友人ともめったに会う機会もなく、また親しくしていた友の訃報も増え、寂しい思いをしていたこの頃でした。

年の功ですね、それぞれに豊かな経験を積み重ねてご活躍され、歩んでこられた皆さまの人生の重みをずっしりと感じました。地球を「ところ狭し」と翔んでおられる方々のお話はすいぶんと刺激的で、脳が活性化されたようです。

でもこれからは老いの道をいやでも歩まなければなりません。健康第一で、自分の好きなことをして、無理なく楽しい毎日を過ごしたいと思うばかりです。そして、また時々、皆さまと青春時代を共有して若返りたいものです。

七月や胎内回帰道後へと
祖母の蚊帳むかしは伊予弁で
青葉朝広島訛の人連れて
八月や海へ散骨遺言に

桜鯛少女おいしより芝居で跳ね
青春を取り戻そうと蛭追う
桜紅葉いま輝いて夢を追う



伊佐庭如矢翁の像



道後温泉本館（大改修が予定されています。）

＜事務局からのつ・ぶ・や・き＞

永井信子さんは「お伽座」という愛媛の昔話を伊予弁で語るサークルで活動されています。支部会当日は重い紙芝居持参で演じてくださいました。とてもお元気です。

左の写真は、道後温泉本館裏手の伊佐庭如矢（伊三 七）像とその功績を刻んだ石碑。静かにその歴史を伝えています。

折しも今、現在の道後温泉の基礎をつくった伊佐庭如矢のミュージカルが松山市のお隣、東温市の「坊っちゃん劇場」で上演されています。

『30年ぶりの支部会』 栗田 智恵子さん（短大 10）

あの匂い何かと遍路に問われたり

四国をつつむ摩訶なる匂い

これは歌人玉井清弘さんが詠まれた有名な歌ですが、40年振りに出席した支部同窓会で、私はすぐに女学院の摩訶なる香りに包まれ、そうだこの香りを身にまとい、生きてきたんだと知りました。出席者の方々とは共有できることばかりで、あっという間に時間が過ぎました。

女学院での学びの時は長い人生のほんの数年でしたが、こころの柔らかな部分には今もその数年の時間が大切に抱かれているのですね。卒業して50余年、忘れかけた「女学院」という故郷にどっぴり身を置き、触れることのできた一日でした。

いつもご苦勞をおかけする支部の方々、本部から出席して下さった3人の方々、本当に有難うございました。また元気で逢いできる日を楽しみに、筆を置かせていただきます。



摩訶なる香りに包まれて

当支部お財布のふくらみ具合

現時点のゆうちょ銀行預金通帳と振込口座残高の合計は195,884円です。今年2月にお願いした2014年度年会費（2015年3月までの分）は、約170名の会員のうち現在44名の方が納入くださっています。ご存知のように、卒業時に納入する「同窓会費」は同窓会全体の事業に用いられ、各支部は支部会員から納入される年会費で運営されます。愛媛・高知支部では、これまで数年に一度の割合でお願いしてきました。

恐縮ですが、今回もう一度振込用紙を同封いたしました。ご協力いただける方はどうぞお願いいたします。

（すでに納入して下さった会員の方には同封しておりません。どうぞご了承ください。）

編集後記

当支部の特徴のある身近な話題や情報を皆さまにお伝えし、交わりの場として支部会報を再開することにいたしました。

当面は言い出しっぱの田中が非力ながら「よろず屋」で進めてまいります。お手伝いいただけるようでしたらぜひお声かけください。そしてご感想などぜひお聞かせください。ご無理のない範囲でどうぞご理解とご協力、そしてご支援をお願いいたします。

愛媛・高知支部 田中 チカ子（大英 17）